

第68回国民体育大会スポーツ祭東京2013ハンドボール競技

競技日	10月 5日(土)	試合番号	B - n	準決勝
種別	成年女子	会場	新宿区立新宿スポーツセンター	

試合結果・戦評報告

Aチーム名			Bチーム名		
鹿児島県			石川県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
15	10	前半	14	28	
	5	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7MTC			

戦評

成年女子準決勝、鹿児島県と石川県の対戦。石川県のスローオフで試合開始。鹿児島県11番古川のシュートで先制する。両チームとも序盤から素早い攻守の切り替えで点を取り合う。3分過ぎから石川県の3連続得点で引き離しにかかるが、8分過ぎに鹿児島県4番高橋の2連続得点により4対4の同点とし、その後も、一進一退の攻防が続く。15分過ぎから石川県6番横嶋、7番田邊による速攻で4連続得点とし10対7とリードする。18分に鹿児島県はチームタイムアウトを取り修正を図るも、両チームともGKの攻守により25分過ぎまで11対8と点差は縮まらない。26分に石川県9番横嶋のポストシュート、5番河田のペナルティーシュートなどで13対8と点差を広げる。その後、鹿児島県も6番石井のサイドシュート、3番藤井のミドルシュートで追い上げるが、14対10と石川県がリードして前半を終えた。

後半立ち上がり両チームとも好守を見せるが着実に得点を重ねていった石川県が4連続得点で、6分過ぎに18対10とした。その後鹿児島県も2回目のチームタイムアウトを取り立て直しを図るが、両チームとも一歩も引かない展開が続く、18分過ぎに21対13点と差は変わらない。鹿児島県は3回目のチームタイムアウトを取り追い上げを図る。しかし、GK寺田の好セーブや、19分過ぎからの6連続得点により、確実に点数を重ねていった石川県が28対15で勝利した。両チームとも攻守に渡り、最後まで運動量が落ちず、見ごたえのある試合であった。

送信日時	10月 5日(土) 14:25	送信者名	新宿会場
------	-----------------	------	------